

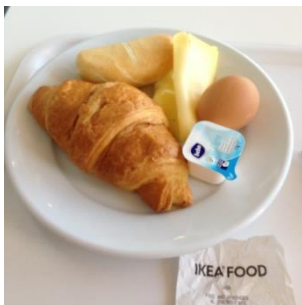
## デルフト (Delft)



デルフトは、こぢんまりとしていますが魅力あふれる街です。フェルメールが生まれた街でもあり、絵に出てきそうな街並みが続いています。街のシンボルでもある新教会の内部には、国王家の人々が代々葬られています。天気良ければ、鐘楼から街が一望できます。

デルフトといえば、青を基調とした『デルフト焼』という陶器が有名です。工房には、レンブラントの“夜警”が、『デルフト焼』のタイルを敷き詰めて再現されていました。ここでは、絵付け体験もすることができます。なかなか職人さんのようにはうまくできませんでしたが…。

あまり知られていませんが、大手家具店のI K E Aの本社がここデルフトにあるのです。店内のレストランでは、1ユーロで朝食を食べることができます。



## ハウダ (Gouda)

ゴードといったら、ピンとくるのではないのでしょうか？そうです、あのゴードチーズのふるさとです。かわいらしい市庁舎がマルクト広場に面していて、この広場でチーズ市が開かれます。私としては、この近郊のチーズ農家で買ったチーズが、忘れられないほどおいしかったです。濃厚な Oude Kaas(長期熟成タイプ)や、マイルドな Jong Kaas(短期熟成タイプ)など、熟成期間によって全く味も違います。私は中間タイプが好きです。



## ドルドレヒト (Dordrecht)



ロッテルダムの南に位置し、水上バスでも行くことができます。いくつかの川の合流地点にある街なので、昔から貿易港として栄えてきました。市庁舎は運河の上にまたがって建っています。

この街はオランダでも屈指の規模のクリスマスマーケットが開催されます。多くの露店が建ち並び、

人々で溢れていました。サンタさんのパレードと温かいグリューワインで、心も体もほっこりしました。

南ホラントだけでも魅力満載です。次回は、今回載せられなかった都市を…